

授業科目	吃音				
担当者	土屋美智子				
専攻(科)	言語聴覚専攻科	学 年	1 年	総単位数	1 単位
		開講時期	後期	選択・必修	必修

■ 授業目的・内容

吃音の基礎知識や臨床に必要な基本的技能について学習する。

■ 到達目標

吃音児・者のおかれている現状を知り、言語聴覚士としての援助のあり方を理解する。
「吃音とは何か」を理解し、情報収集（検査含む）、評価および指導・訓練など臨床に必要な基本的知識・技能を身につける。

■ 授業計画

- 第1回 【吃音の基本的知識】
- 第2回 【吃音症状】 吃音中核症状とその他の非流暢性などについて
【進展段階】 吃音の進展段階について理解する
- 第3回 【吃音児・者のおかれている現状】 吃音児・者のおかれている現状を知り、言語聴覚士としてどのように援助すべきかを考える
- 第4回 【吃音臨床①】 吃音臨床の流れ 情報収集
- 第5回 【吃音臨床②】 吃音検査法
- 第6回 【吃音臨床③】 吃音の総合評価について（症例検討）
- 第7回 【吃音臨床④】 吃音の指導・訓練法①
- 第8回 【吃音臨床⑤】 吃音の指導・訓練法② 再評価（症例検討）

■ 評価方法

科目試験（筆記試験） 100%

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

授業中適宜指示する

■ 教科書

書 名：言語聴覚士ドリルプラス吃音・流暢性障害
著者名：土屋美智子
出版社：診断と治療社

■ 参考図書

■ 留意事項

新型コロナウイルス感染症対策や不測の事態（災害等）が発生した際、遠隔授業による授業運営に変更する可能性がある。また、新型コロナウイルス感染症の感染状況や入構禁止等の措置を講じた場合は、評価方法を変更することがあり、評価方法を変更する場合には、講義支援システム（Moodle）を通じて周知する。